



愛篤ニュース

2026 1月号

工房阿列布 住所: 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根 65-187
電話: 0246-36-3944 FAX: 0246-36-3922 メール: k_olive@aitokufukushikai.jp
KAKA's FACTORY 住所: 〒069-1141 北海道夕張郡由仁町川端 1002
電話: 0123-85-2246 FAX: 0123-85-2046 メール: kakas_01@aitokufukushikai.jp
グルーピーホーム静修苑 住所: 〒970-1151 福島県いわき市好間町下好間字鬼越 24-10
電話: 0246-36-3611 FAX: 0246-36-3677 メール: seisynn@aitokufukushikai.jp
法人事務局 住所: 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根 65-187
電話: 0246-36-3944 FAX: 0246-36-3922 メール: bonbu@aitokufukushikai.jp

発行日:毎月末日 発行責任者 社会福祉法人愛篤福祉会 理事長 阿部 洋介

社会福祉法人愛篤福祉会は、利用者が安心して暮らせる施設づくりを目指します

「仕事と同じく重要な思っている」とが、いわきを知る」と。
支援学校を回り地理を学び災害を知り、スーパー好きな私はマートと鮮場を初体験。いわきが面白いですね！
「一山一家」その昔炭鉱や鉱山において働く人々は家族であり、助け合う共同体であるという言葉があるそうですね、石炭化石館（ほるる）の方に聞いた話です。炭化石館（ほるる）の方に聞いた話です。
共に働き共に笑う。阿列布は一山であり、そこに集まる全員が一家でまさに当てはまる言葉だと思いました。とは言つても「仕事だから」「とりあえず平日だから」そのテンションで工房に足を運ぶ事もあるでしょう。「これを絶対に〇にしようなんて全く思いません。人間ですから。そんな日もあります。ただそんな人が一人でも多くなればどうでしょうか。これは志の異なる人の集まりでただの「群れ」になってしまふ。これを放つておくのではなく、誰もがあります。そこには心地いい空間があり、「明日も阿列布に行きたいな」そんな風に思える場所作り。それが私の責務です。今日も私はいわき（阿列布）に行く日を、みんなと過ごす時間楽しみにしています。」

新しいという言葉には希望を感じる事が
多いですが、最近は旧や古という言葉にも
学ぶことが増えたと感じるようになります
した。昔はもっと新しい事や物に飢えてい
た気がします。当たり前の事ですが新にも
旧にもどちらも価値はあるのです。しかし
悲しい事に、大半の若い人は新しいものを
尊び古いモノを否定したがり、その逆に一
定以上の大人は古いシステムに依存し、新
しい時代を受け入れられない、なんて事が
多く見られます。無い物ねだりは人間の
悪癖ですが、無いものを欲する渴望が新
たなものを生む原動力になります。たった
一秒でもそれは未来であり、人は常に未
来に進んでいます。でもそこには必ず過去
の積み重ねがあるのです。

令和八年度から工房阿列布の営業日を二六九日から九日間減らし、二六〇日と致します。

職員の待遇改善と土曜日に利用する方の減少に伴う対応となりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

今年に入ってから、市内ではほぼ雨が降っていません。人間も物も全てが乾燥しきっている状態です。

乾燥が続くと、朝起きた時に、喉がイガイガしたり、鼻の中が痛んだりします。

マスクや加湿器を利用して出来るだけ湿度を保つようにしましょう。

また、火気を使っているときは、その場から離れず、火災を起こさないように注意しましょう。



＜寄付・物品寄贈の皆様＞

渡辺和子 様、遠藤哲郎 様、大平みつ子 様、株式会社一平 様、株式会社プリモ 様、阿部洋介 様

＜順不同です＞ ありがとうございました。